

# (株)富山環境整備の現在と今後の事業展開

～地域循環共生圏実現に向けて～



2023年8月2日（水）

株式会社富山環境整備 代表取締役 松浦 英樹



## COMPANY

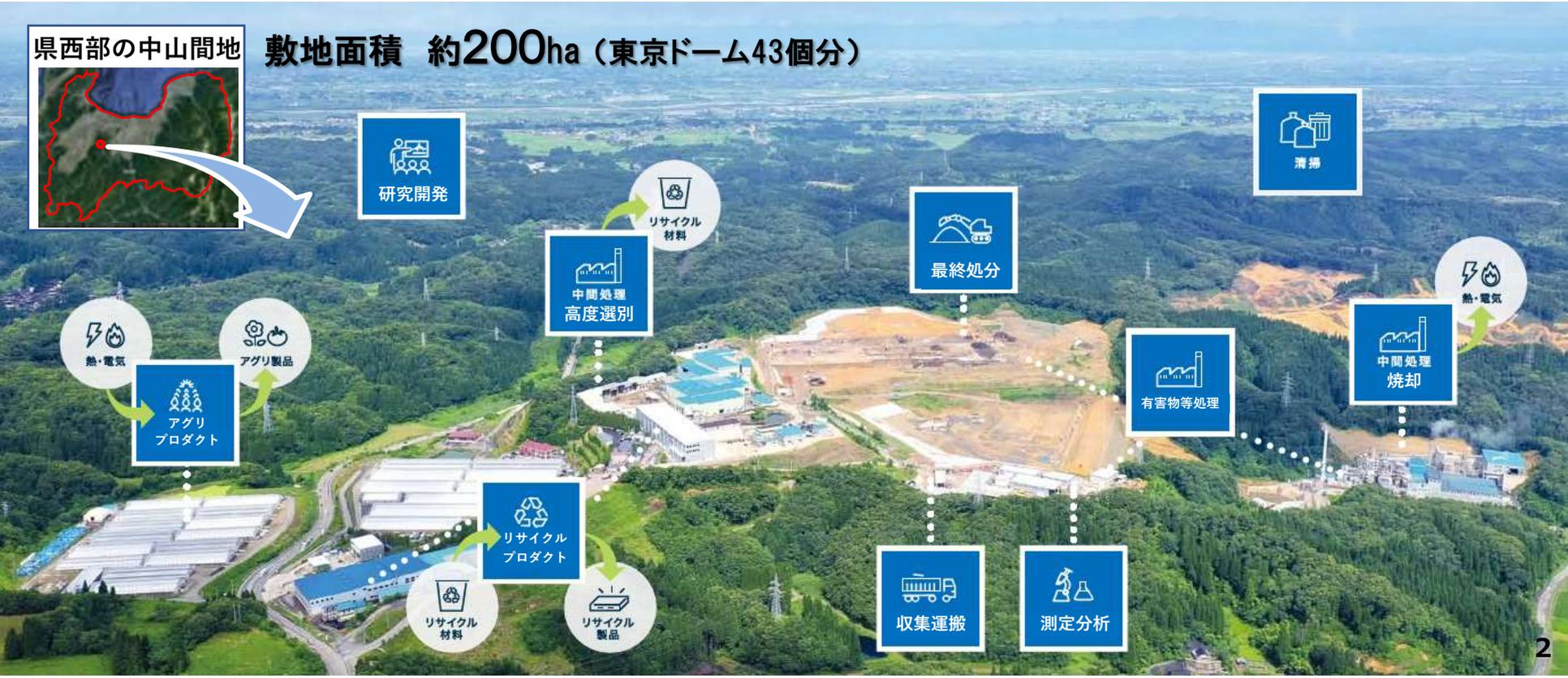
- 所在地：富山県富山市婦中町吉谷
- 創業：昭和47年（1972）
- 社員数：374名
- 売上高：158億円（2020）

## SERVICES

- 廃棄物処理  
収集運搬/中間処理（破碎、選別、焼却他）/最終処分/PCB処理
- リサイクルプロダクト  
容器包装プラスチック/原料製造（ペレット）/製品製造（パレット他）
- アグリプロダクト
- 研究開発

県西部の中山間地

敷地面積 約200ha（東京ドーム43個分）





# 中間処理／高度選別

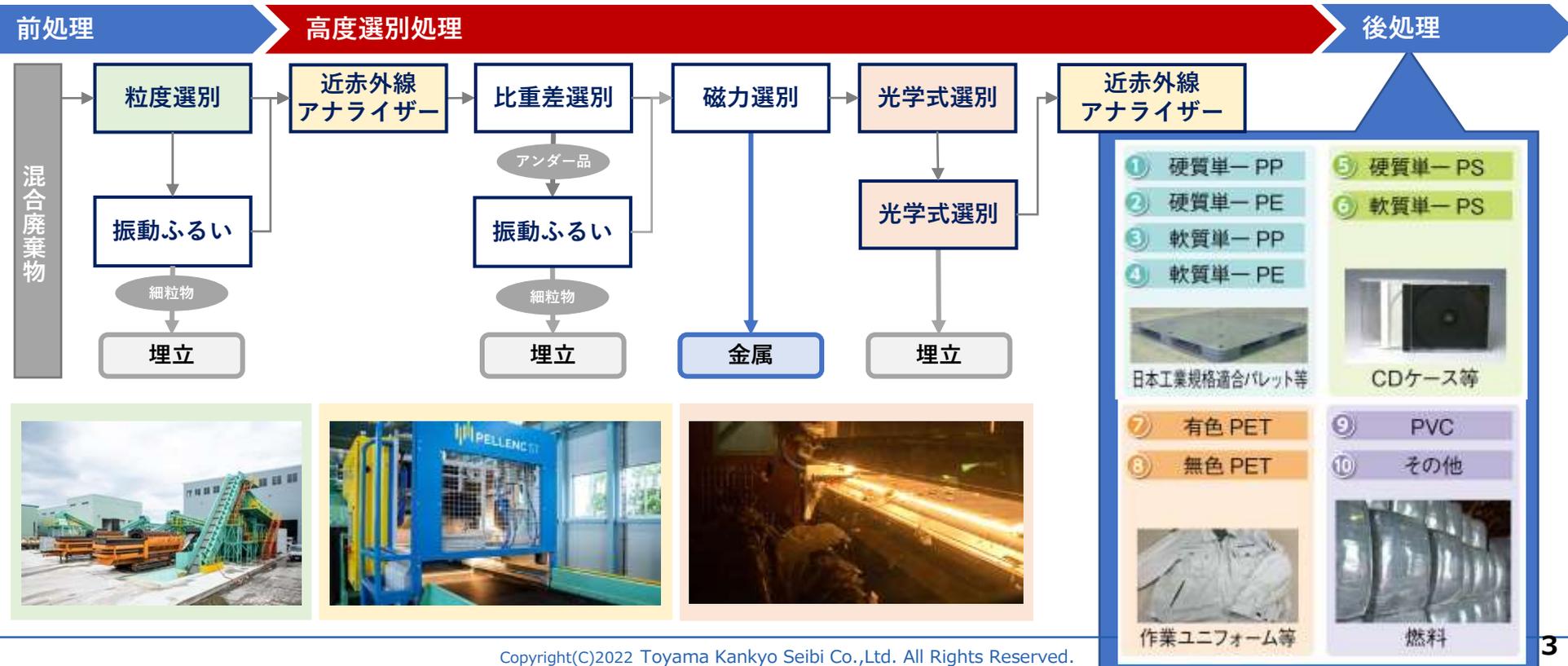


## 最後のひとかけらまで、資源として有効活用する 高度選別センター

### 特徴：

- 近赤外線アナライザーにより、リアルタイムな素材組成把握が可能
- 光学式選別を重ねることで、ニーズに応じた高品質な素材選別を実現
- 資源を徹底的に回収し、素材の特徴を生かした多様なリサイクルを推進

### 処理フロー：





アナライザーで検知した廃棄物データを活用し、合計9機による光学式選別でリサイクル不適物を取り除き、適した素材もリサイクル方法に合った素材選別をしていきます。





焼却でエネルギーの創出と廃棄物の減容を実現

## 発電併用焼却施設 & 低濃度PCB廃棄物の無害化処理

特徴：

- 焼却方法の異なる2つの焼却施設を完備し、多様な廃棄物の処理に対応
- 発電併用かつ同一敷地内のアグリ施設等でエネルギー活用する循環スキームを構築
- 排ガス等の維持管理は当社分析センターにて適切かつ迅速に実施

### 第一発電併用焼却施設 ロータリーキルン炉



処理能力：144t/日（24時間稼働）  
発電能力：1500kW

令和3年6月7日 環境大臣認定  
PCB汚染物  
5,000~100,000mg/kg の  
処理を追加



### 第二発電併用焼却施設 乾溜ガス化炉



処理能力：140t/日（24時間稼働）  
発電能力：3700kW



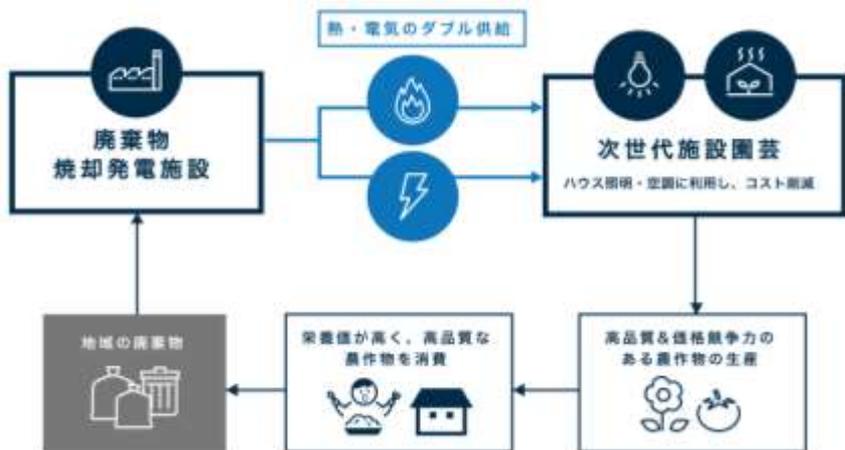
## 廃棄物由来エネルギーで創る次世代スマートアグリ アグリプロダクト

### 特徴：

- 地域資源エネルギーを有効活用した循環型農業を実施
- ICT等を活用した管理による周年栽培の実現
- 農産物栽培だけでなく食品加工・流通・販売も行い6次産業化を展開

### 事業概要：

安定的に供給される廃棄物発電と排熱を利活用し、米作中心地帯での大規模施設園芸のモデル的導入



### 栽培品目：



トマト（フルティカ）

甘みと酸味のバランスがよく、糖度10度を上回るものもある高品質なフルーツトマト



トルコキキョウ

花びらがフリンジでボリュームがあり豪華な花形が魅力  
年間20種類を栽培



イチゴ（よつぼし）

豊富なミネラル水等で栽培し鮮やかな赤みと豊かな香りが特徴のいちご



## 地域と共に、中山間地の田園風景を未来へつなげる 地域振興

### 特徴：

- 吉谷事業所の周辺地域の皆様と連携して推進
- 少子高齢化等に伴う地域の圃場や遊休施設など、地域にある資源を利活用
- 適地適作・販わいの場創出から、地域の価値を向上させる

### 地域圃場の利活用



お米・小麦栽培



有機農法での露地栽培



資源作物栽培 (バイオマス燃料など)

### 地域施設の利活用

#### 地場産品直売所 (栽培作物を含む)



## 地域コミュニティの価値向上や活性化へ

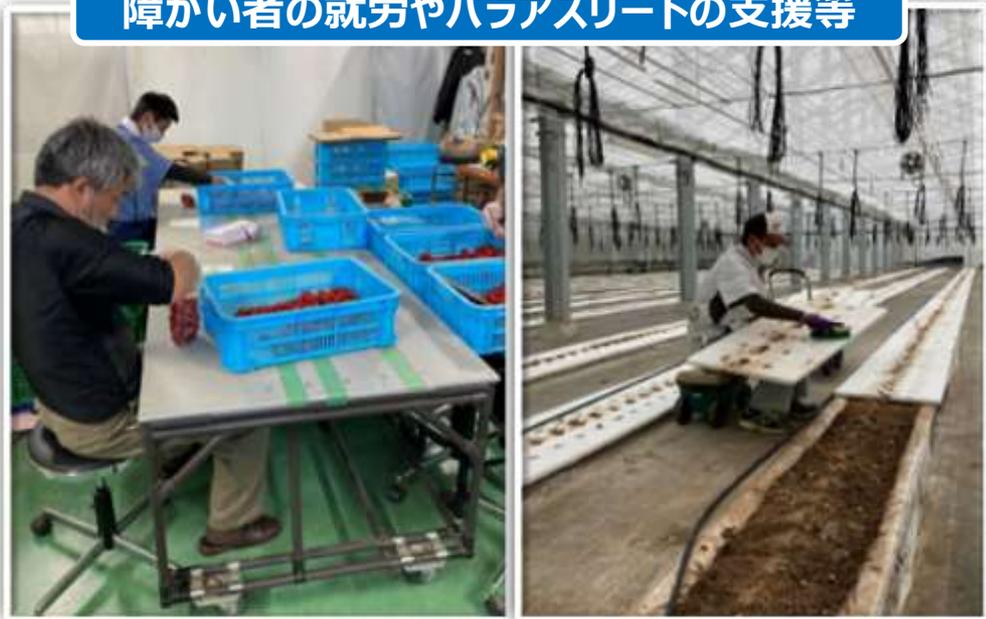


# 地域とのつながり

地元交流会 お花見イベント  
(令和5年4月1日 自社所有地)



障がい者の就労やパラアスリートの支援等



出前講座 (令和4年11月1日 音川小学校)



災害復旧 (令和5年6月12日)





# 地域とのつながり

地元交流会 お花見イベント  
(令和5年4月1日 自社所有地)



障がい者の就労やパラアスリートの支援等



出前講座 (令和4年11月1日 音川小学校)



災害復旧 (令和5年6月12日)



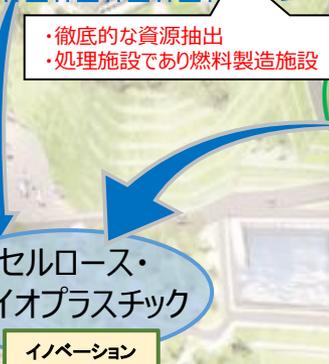
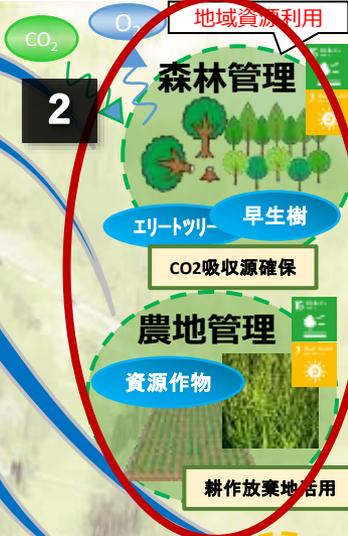
# 廃棄物処理を軸とした地域循環共生圏モデル（地方版SDGs）



**(株)富山環境整備  
中期事業計画イメージ  
(2020 → 2025 Redesign)**

→ 熱・電気エネルギー  
→ 資源

災害廃棄物、感染性廃棄物、PCB処理





## 【ごみ袋の特長】

- ① 家庭で集めたプラスチックごみを原料に用いたごみ袋
- ② 伸びと強度を具えた再生材100%のごみ袋
- ③ CO<sub>2</sub>の削減効果



設立総会

### 【参画メンバー】

富山県・富山市・婦負森林組合  
富山環境整備、地元関係者等

### 【実施期間】

2022年度から5年間

### 【実施内容】

5年程度で伐採可能なヤナギを対象として、富山県内に自生する品種を荒廃農地にて植栽、生育調査、増殖を行う。優良系統の選抜、収量確保により、地域資源としてのバイオマス燃料の活用を目指す。



<植栽>  
(1.3ha、15,000本植栽)



<植栽後>  
(2023年4月)

100日後



生育調査中 (2023年7月7日現在)

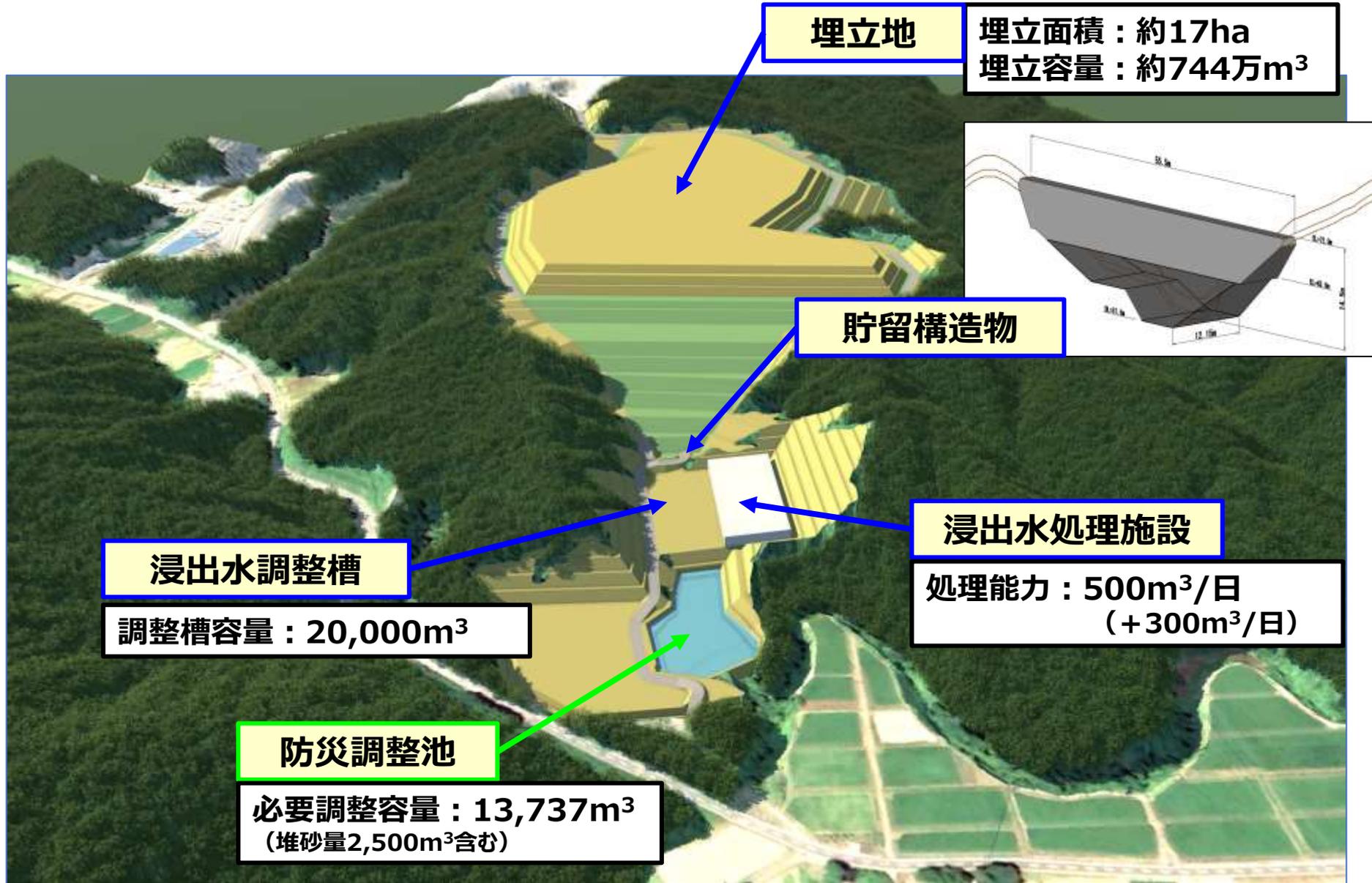
施設の種類：管理型最終処分場（第3期処分場）  
設置場所：富山市婦中町吉谷字大谷1005-24外206筆  
埋立面積：231,300 m<sup>2</sup>  
埋立容量：8,973,520 m<sup>3</sup>



施設の種類：管理型最終処分場（平等処分場）  
設置場所：富山市婦中町平等字中ノ谷8番外103筆  
埋立面積：174,804 m<sup>2</sup>  
埋立容量：7,440,481 m<sup>3</sup>



# 主要施設の配置





## 【近年の大規模災害における災害廃棄物の発生量】

災害名	災害の種別	発生年月	災害廃棄物量 [万トン]	処理期間
東日本大震災 <sup>(※1)</sup>	地震・津波	H23年3月	3,100 (津波堆積物1,100を含む)	約3年 (福島県を除く)
阪神・淡路大震災 <sup>(※2)</sup>	地震	H7年1月	1,500	約3年
熊本地震 <sup>(※3)</sup> (熊本県)	地震	H28年4月	311	約2年
平成30年7月豪雨 <sup>(※4)</sup> (岡山県, 広島県, 愛媛県)	水害	H30年7月	190 <sup>(※5)</sup>	約2年
令和元年房総半島台風・東日本台風 <sup>(※6)</sup>	水害	R1年9~10月	116 <sup>(※7)</sup>	約2年 (予定)
新潟県中越地震 <sup>(※8)</sup>	地震	H16年10月	60	約3年
令和2年7月豪雨 <sup>(※9)</sup>	水害	R2年7月	53.4 <sup>(※10)</sup> (土砂混じりがれきを含む)	<sup>(※11)</sup> 約1.5年 (予定)
令和3年7月豪雨 <sup>(※12)</sup>	水害	R3年7月	1.3 <sup>(※13)</sup> (土砂混じりがれきを含む)	
令和3年8月豪雨 <sup>(※14)</sup>	水害	R3年8月	7.6 <sup>(※15)</sup>	

## 災害ごみ受け入れ開始

県内3カ所 台風被害長野から

台風19号で甚大な被害を受けた長野市の災害ごみの受け入れが9日、立山町末三賀の富山地区広域圏クリーンセンターなど県内3カ所で大規模的に始まった。

災害ごみは、富山市内に処理施設を持つアイザック(魚津市大海寺野)と富山環境整備(富山市婦中町吉谷)が処理量が多いため、可燃ごみの一部は同センターでも受け入れる。同センターの焼却炉には



この日、10トトラック2台で可燃ごみ約9・4トが持ち込まれた。同センターの

川渕正一所長は「早急な復興には災害ごみの速やかな処理が不可欠。精いっぱい協力したい」と話した。今後、受け入れるごみの量や終了時期は未定という。長野市では千曲川の氾濫により大量の災害ごみが発生。処理が追い付かず、仮置き場にごみがあふれていることが問題になっていた。同市から要請を受け、富山市が受け入れを表明していた。

長野市で発生した災害ごみを焼却炉に運ぶトラック 富山地区広域圏クリーンセンター

令和元年11月10日 北日本新聞

災害廃棄物発生量：約27万t

## 【想定される大規模災害時の災害廃棄物等の量】

南海トラフ地震：災害廃棄物が最大約3.2億トン(東日本大震災の約16倍)

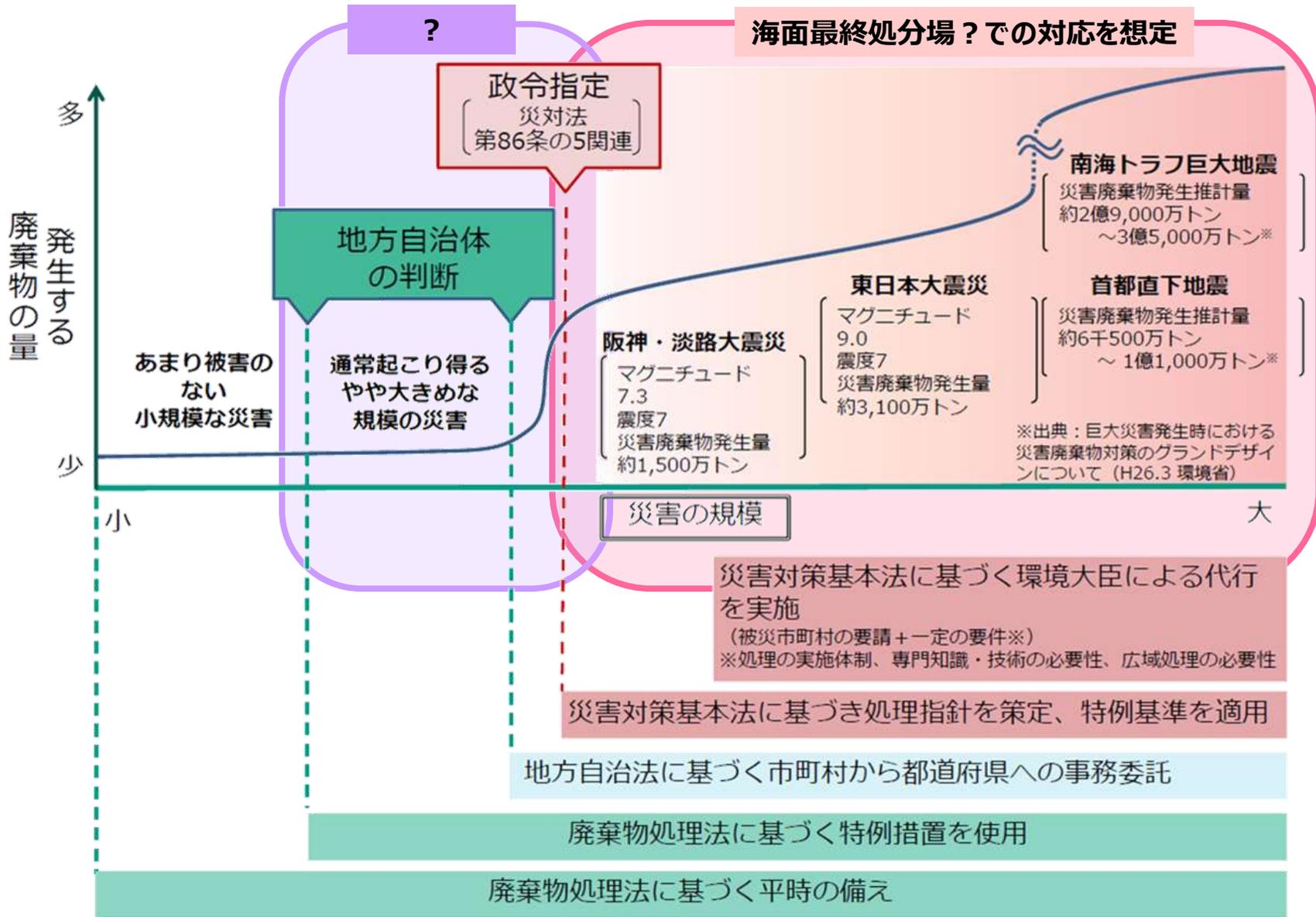
津波堆積物が最大約0.3億トン

首都直下地震：災害廃棄物が最大約1.1億トン(東日本大震災の約5倍)

「巨大災害における災害廃棄物対策のグランドデザイン」における試算結果

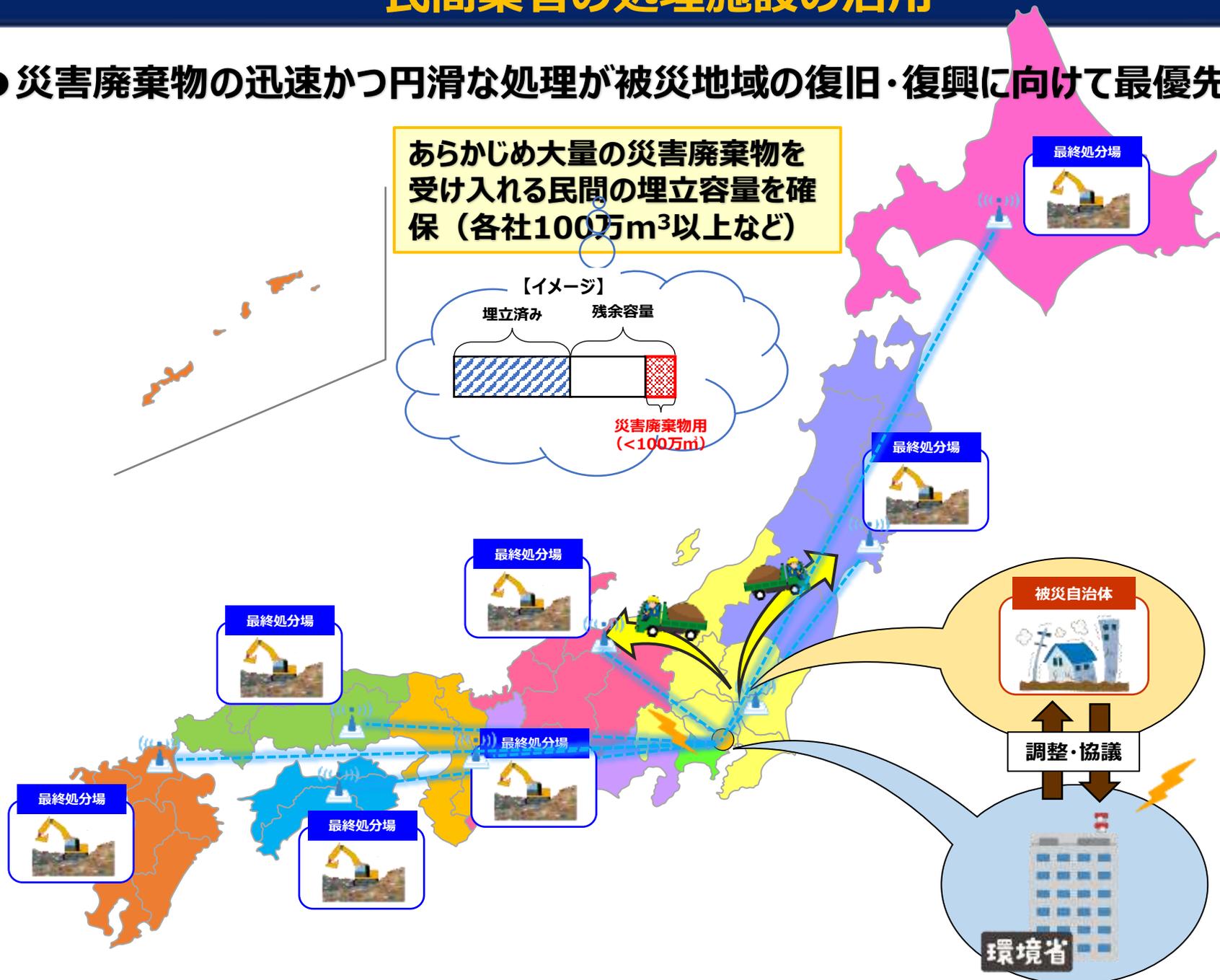


# 災害廃棄物対策における災害の規模と適用する措置の考え方



# 民間業者の処理施設の活用

- 災害廃棄物の迅速かつ円滑な処理が被災地域の復旧・復興に向けて最優先課題





# 一般廃棄物最終処分場の残余容量 → 大量の災害廃棄物の受け入れは困難？

## 高岡広域圏

②高岡市埋立処分場（B、D地区）【374,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：70,900m<sup>3</sup>

③氷見市不燃物処理センター【170,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：52,183m<sup>3</sup>

④小矢部市不燃物処理場【135,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：71,851m<sup>3</sup>

## 射水市

⑩野手埋立処分所【280,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：34,214m<sup>3</sup>

## 砺波広域圏

⑧クリーンセンターとなみ一般廃棄物最終処分場【57,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：6,699m<sup>3</sup>

⑨南砺リサイクルセンター埋立地【31,800m<sup>3</sup>】  
残余容量：0m<sup>3</sup>

## 新川広域圏

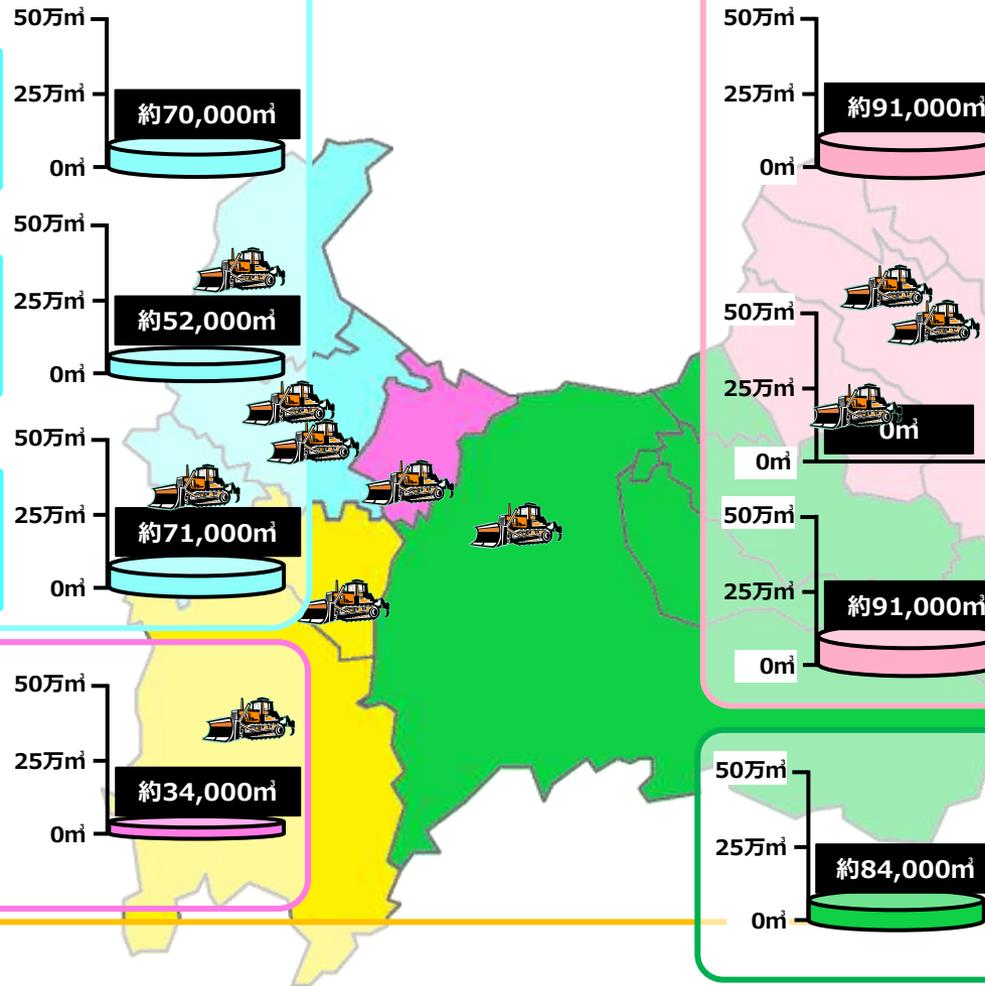
⑤新川一般廃棄物最終処分場【165,262m<sup>3</sup>】  
残余容量：91,685m<sup>3</sup>

⑥宮沢清掃センター一般廃棄物最終処分場【234,939m<sup>3</sup>】  
残余容量：0m<sup>3</sup>

⑦宮沢清掃センター新最終処分場【54,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：46,317m<sup>3</sup>

## 富山広域圏

①富山市山本最終処分場【555,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：84,286m<sup>3</sup>



※令和4年4月1日現在



# 一般廃棄物最終処分場の残余容量 → 大量の災害廃棄物の受け入れは困難？

## 高岡広域圏

②高岡市埋立処分場（B、D地区）【374,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：70,900m<sup>3</sup>

③氷見市不燃物処理場【170,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：52,183m<sup>3</sup>

④小矢部市不燃物処理場【135,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：71,851m<sup>3</sup>

## 新川広域圏

⑤新川一般廃棄物最終処分場【165,262m<sup>3</sup>】  
残余容量：91,685m<sup>3</sup>

⑥宮沢清掃センター一般廃棄物最終処分場【234,939m<sup>3</sup>】  
残余容量：0m<sup>3</sup>

⑦宮沢清掃センター新最終処分場【54,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：46,317m<sup>3</sup>

**残余容量  
約45万m<sup>3</sup>**

## 射水市

⑩野手埋立処分所【280,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：34,214m<sup>3</sup>

## 富山広域圏

①富山市山本最終処分場【555,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：84,286m<sup>3</sup>

## 砺波広域圏

⑧クリーンセンターとなみ一般廃棄物最終処分場【57,000m<sup>3</sup>】  
残余容量：6,699m<sup>3</sup>

⑨南砺リサイクルセンター埋立地【31,800m<sup>3</sup>】  
残余容量：0m<sup>3</sup>

※令和4年4月1日現在